

(寄稿)

病院の建替え、新築計画のポイント

<要 約>

病院経営者にとって、大規模な新事業や投資は、地域におけるプレゼンスを高めるチャンスの一つとなります。しかし、同時に大きなリスクも抱えることとなります。

特に、建替え時期を迎えている病院も多く、建替え事業は、病院にとって、比較的身近な大型事業と言えるでしょう。しかしながら、病院にとって、建築コストは非常に大きく、殆どの病院ではそれらの費用を長期の借入金に頼っているのが実情です。

このような、長期で且つ大規模な建替え事業は、一般的な新規事業と異なり、「撤退」することが出来ないのは、言うまでもありません。計画段階での十分な検討が、病院経営の明暗を分けるといっても過言ではありません。

これらのリスクを回避する為には、病院経営者が主体となり、プロジェクトマネジメントの手法を取入れ、専門家と意見を交わしながら、適切に判断していく事が重要となります。

本稿では、下記の「本稿の内容」に基づき、病院の建替え、新築計画について、その資産を毀損しないよう経営的な側面から見た基本的なポイントを近況例を含めて解説していきます。

<本稿の内容>

- 1．病院建設のプロジェクトマネジメント体制
- 2．病院の経営環境の把握
- 3．敷地と建物のマスタープラン作り
- 4．建替え時期、建築プロジェクトのコストプランニング

2009年3月31日
Healthcare note
(No.09-11)

寄稿者名：

医療福祉環境研究会
理事 野田 洋

東京医科歯科大学大学院
非常勤講師 岩堀 幸司

編集主幹：

野村ヘルスケア・サポート&
アドバイザー株式会社
市川 剛志

野村證券株式会社
法人企画部